

「市民社会団体との関係に関するスタッフ向け指針」 についてのパブリック・コンサルテーションのご案内

更新日：2013年6月14日

国際通貨基金（IMF）では、「[市民社会団体（CSO）との関係に関するスタッフ向け指針](#)」に関する皆様からのご意見を募集しています。オンライン・コンサルテーションの期間は2カ月間です。2013年8月16日（金）までに、皆様のご意見を電子メールで IMFconsultation@imf.org まで是非お寄せください。

背景

「[市民社会団体（CSO）との関係に関するスタッフ向け指針](#)」は、CSOとの有益な関係構築に関するスタッフ向けのガイダンスとして2003年に作成されました。これまで10年間でIMFの役割に加えCSOとIMFの関係が果たす役割も変化してきました。IMFではこういった変化を同指針に反映させるべく現在その見直しを進めています。

この見直しのため、IMFは、外部コンサルタントとして[ベッスマ・モマーニ博士](#)と契約しました。モマーニ博士は、この指針をどのように改善できるか分析を進め、他の機関が作成した同様の指針をレビューするとともに最善慣行の特定に努めるなど、指針の最新版の作成に協力しています。また、モマーニ博士は、こうした過程の早い段階で政策に関するパブリック・コンサルテーションをどのように行うかについて、IMFに提言を行う予定です。

CSOからのインプットは指針の見直しにおいて不可欠であることから、IMFは関心のある全ての関係者（市民社会団体、学界、シンクタンクなど）を対象にオンラインのプラットフォームを設置し、広く意見を募集しています。同時に、モマーニ博士が現在進めているサーベイへもご意見をお寄せください。サーベイには[こちら](#)から参加することができます。

プロセス

締め切り後、IMFの市民社会チームが皆様のご意見を集計し寄せられた全てのご意見をまとめこちらのページに掲載いたします。コメントの非公開扱いを希望され掲載を望まれない場合は、ご意見を寄せられる際にその旨お知らせください。関心のある全ての関係者の皆様は、以下の方法でご意見をお寄せください。

- 電子メール：IMFconsultation@imf.org

- ファックス：+1 202 623 6220

ファックスもしくは電子メールでご意見をお寄せいただく際には、コメント登録を行うため、以下の情報もあわせてご記載ください：*お名前、所属、住所、国名、電話番号、電子メールアドレス。*

締め切りは、**2013年8月16日（金）**の午前零時（ワシントン DC 時間）です。

コンサルテーションの後

第1回目のコンサルテーションとサーベイ結果のレビューの終了後、モマーニ博士が新しい指針の草案を作成し、10月にワシントン DC で開催される2013年 IMF 年次総会で、市民社会メンバーにこれを提示します。IMFは、新しい指針の最終版を2013年末に理事会に情報として提出、その後一般に公表する予定です。